

RCNP 研究会報告

タイトル： 第 1 回世界加速器会議（通称 IPAC'10 : International Particle Accelerator Conference 2010）

日程： 2010 年 5 月 23～28 日

開催場所： 国立京都国際会館

参加者数： 1244 名（アジア 531 名、欧州 467 名、米国 246 名）

ホームページ： <http://www.ipac10.org/>

世話人： 生出勝宣（KEK、組織委員長）、野田章（京大化研、プログラム委員長）、白井 敏之（放医研、実行委員長）、福田光宏（RCNP）、畑中吉治（RCNP）、田川精一、加藤龍好、楊金峰（阪大産研）、想田光、頓宮拓（京大化研）、大垣英明、紀井俊輝（京大エネルギー理工学研）、増田開（京大工）、菊谷英司、古川和朗、白川明広、濁川和幸、小菅隆、林陽子（KEK）、水野明彦（SPing-8）、稲垣隆宏（理研播磨）、上垣外修（理研和光）、Christine Petit-Jean-Genaz（CERN）

内容・成果

従来、北米、欧州、アジアで個別に開かれていた粒子加速器とその応用に関する国際会議が統一されて初めて開催された第 1 回世界加速器会議 IPAC10 は、1200 名を超える参加者と 1600 件にも上る発表論文を集めて成功裏に終了した。会議では、各種粒子加速器の現状、プロジェクトの進捗状況、要素技術の R&D、加速器の応用などをテーマとした口頭発表が 99 件（2 会場でのパラレルセッション）、ポスター発表が約 1500 件あり、活発な議論や意見交換などを通じて加速器研究の発展と研究者間の国際交流に大いに貢献したと期待される。

特に、今回は、アジア地域をはじめとして大勢の若手研究者や学生の積極的な参加が目立ち、組織委員会は合計 100 名の学生に対して参加費・滞在費等の助成を行った。RCNP から助成された予算はその一部として活用され、6 名の学生に国内滞在費として支給された。

RCNP は、本国際会議の組織委員会発足当初から会議運営に全面的に協力し、会議終了翌日の 5 月 29 日には RCNP や SPring-8 などへのラボツアーが行われ、RCNP には約 70 名の見学者が訪れた。

なお、本国際会議のプロシーディングスの編集作業は既に終了し、提出された原稿は上記ホームページからダウンロードできる状態にある。